

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業
「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」
第2回 ITを活用した教育センター会議 議事録

【日 時】10月30日（火）13時から

【場 所】以下の3拠点によるスカイプ会議：岩手医科大学：城教授室、北海道医療大学：越野教授室、昭和大学：1号館502号室

【出席者】城教授（岩手医科大学）、越野教授（北海道医療大学）片岡教授（昭和大学）

議 事 内 容

1. 第1回 ITを活用した教育センターワークショップについて

1) 参加者の応募状況について（別添1, 2, 3）

北海道医療大9名（大学7名、歯科医師会2名）

岩手医大12名（大学10名、歯科医師会2名）

昭和大 24名（大学19名、歯科医師会5名）

2) スケジュール案と教育プログラム案について（別添4, 5）

3つの教育テーマ（1. 口腔乾燥症 2. 基礎疾患を有する患者の歯科診療（循環器系疾患，呼吸器系疾患，糖尿病） 3. 介護施設における地域医療）について、IT教材を使って教育を行うことに関しては同意が得られた。

大学によってカリキュラムが異なるので、作成したIT教材を実際に教育に活用する学年や時期は大学によって異なっても構わない事、また教材を段階的に、基礎的な内容から臨床的な内容に作成していくことに関しても同意が得られた。

それぞれの教育テーマについて、どのような形で3段階（3年間）に分けて作成していくかは、それぞれのワーキンググループが検討するが、基本方針（原案）はこの委員会で作成したい。

3) 各連携校から紹介する連携校で共有するIT教材について

・電子ポートフォリオ（昭和）

・e-learning教材

全身疾患と口腔内科（昭和）、頭頸部の診察実習（昭和）

携帯で活用できるe-learning（北医療）

・VP（バーチャルペーシエント）（昭和）

4) 連携して開発する教材のテーマ案とWGメンバー案（別添6）

（1）口腔乾燥症 美島教授（昭和）を中心に準備を行う。

（2）基礎疾患を有する患者の歯科診療 城教授（岩手）を中心

に準備を行う。

(3) 地域医療 越野教授(北医療)と向井教授(昭和)を中心に準備を行う。

5) WS 準備について 参加者への事前連絡は基本的にメールで行う。

2. IT を活用した教育センター

1) 組織図案とメンバーについて (別添7)

教育プログラム検討委員会と到達度評価委員会のメンバーをワークショップ前に決めて、第1回 IT を活用したワークショップでそれぞれ第1回の委員会を開催する。

2) 定例会議について 教育プログラム検討委員会は月例、到達度評価委員会は年に2回程度開催する。

3. その他

1) 3 連携校の IT 環境の調査状況 (別添8)

岩手医大の調査結果が報告された。

北海道医療大と昭和大の結果は追って報告する。

次回の開催は11月19日(月) 11時から スカイプ会議

大学間連携共同教育推進事業共同実施に伴うワークショップへの参加者について
(岩手医大)

(11/22 開催)

氏名	所属	職名	連絡先	備考
城 茂治	口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野	教授	sjoh@iwate-med.ac.jp	取組担当者
藤村 朗	解剖学講座 機能形態学分野	教授	akifuji@iwate-med.ac.jp	
野田 守	歯科保存学講座 う蝕治療学分野	教授	nodam@iwate-med.ac.jp	
近藤 尚知	補綴・インプラント学講座	教授	hkondo@iwate-med.ac.jp	
小林 琢也	補綴・インプラント学講座	講師	kobataku2@gmail.com	
熊谷 章子	口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野	助教	kumagaia@iwate-med.ac.jp	
須和部 京介	歯科保存学講座 歯周療法学分野	常任研究員	suwabeky@iwate-med.ac.jp	
三善 潤	岩手県歯科医師会	常務理事	〒020-0132 岩手県盛岡市西青山 2-18-4 三善歯科医院 TEL019-647-7666 FAX019-647-8770	岩手県歯科医師会担当者
金子 良司	盛岡市歯科医師会	副会長	〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通 2-5-25 8020 プラザ 3 階 盛岡市歯科医師会事務局 担当：原 TEL：019 (651) 1170 moriden@mda8020.com	盛岡市歯科医師会担当者
山本 和博	歯学部教務課	課長	kazuhiro.yamamoto@j.iwate-med.ac.jp	事務担当者
近藤 敬	歯学部教務課	課長補佐	takashi.kondou@j.iwate-med.ac.jp	

大学間連携共同教育推進事業共同実施に伴うワークショップへの参加者について
(北医療大)

(11/22 開催)

氏名	所属	職名	連絡先	備考
越野 寿	口腔機能修復・再建学系 咬合再建補綴学分野	教授	koshino@hoku-iryu-u.ac.jp	取組担当者
安彦 善裕	生態機能・病態学系 臨床口腔病理学分野	教授	yoshi-ab@hoku-iryu-u.ac.jp	
齊藤 正人	口腔構造・機能発育学系 小児歯科学分野	教授	msaitoh@hoku-iryu-u.ac.jp	
長澤 敏行	口腔機能修復・再建学系 歯周歯内治療学分野	准教授	nagasawa@hoku-iryu-u.ac.jp	
豊下 祥史	口腔機能修復・再建学系 咬合再建補綴学分野	講師	toyosita@hoku-iryu-u.ac.jp	
草野 薫	生体機能・病態学系 顎顔面口腔外科学分野	講師	kkaoru@hoku-iryu-u.ac.jp	
河野 崇志	北海道歯科医師会	常務理事 (学術担当)	〒060-8573 札幌市中央区北1条 東9丁目11番地 ☎011-231-0945	
大森 幹朗	札幌歯科医師会	理事 (学術担当)	〒064-0807 札幌市中央区南7 条西10丁目 ☎011-511-1543	
歳桃 淳	学務部情報推進課	係	j-saitoh@hoku-iryu-u.ac.jp	事務担当者

第1回 IT を活用した教育センターワークショップ 参加者（昭和大学）

氏名	所属	職名	連絡先	備考
片岡 竜太	スペシャルニーズ口腔医学講座 歯学教育学部門	教授	kataoka@dent.showa-u.ac.jp	取組担当者
宮崎 隆	歯科保存学講座 歯科理工学 部門	教授	miyazaki@dent.showa-u.ac.jp	学部長
岡野 友宏	口腔病態診断科学講座 歯科放射線分野	教授	tokano@dent.showa-u.ac.jp	病院長
井上 美津子	小児成育歯科学	教授	inouem@dent.showa-u.ac.jp	教育委員長
美島 健二	口腔病態診断科学講座 口腔病理学部門	教授	mishima-k@dent.showa-u.ac.jp	
向井 美恵	スペシャルニーズ口腔医学講 座 口腔衛生学部門	教授	ymukai@dent.showa-u.ac.jp	
佐藤 裕二	高齢者歯科学	教授	sato-@dent.showa-u.ac.jp	
馬場 一美	歯科補綴学	教授	kazuyoshi@dent.showa-u.ac.jp	
新谷 悟	顎口腔制御外科学講座	教授	shintani@dent.showa-u.ac.jp	
佐野 晴男	スペシャルニーズ口腔医学講 座 地域連携歯科学部門	教授	midori-118@dent.showa-u.ac.jp	
飯島 毅彦	全身管理歯科学 歯科麻酔学 部門	教授	iijima@dent.showa-u.ac.jp	
北川 昇	高齢者歯科学	准教授	kitagawa-n@dent.showa-u.ac.jp	
菅沼 岳史	歯科補綴学	准教授	t-suganuma@dent.showa-u.ac.jp	
須田 玲子	歯周病学	講師	suda@dent.showa-u.ac.jp	
谷 千尋	歯科保存学講座 美容歯科学 部門	講師	ctani@dent.showa-u.ac.jp	
勝部 直人	歯科保存学講座 総合診療歯 科学部門	講師	knao@dent.showa-u.ac.jp	
岡本 徹	東京都大田区大森歯科医師会	会長	〒146-0082 東京都大田区池上 4-19-7 03-3755-5400	
村上 光広	東京都目黒区歯科医師会	理事(地 域医療)	〒152-0001 東京都目黒区中央町 2-13-11 03-3719-8201	
矢部 隆司	東京都荏原歯科医師会	委員	〒142-0053 東京都品川区中延 1-4-15 03-3783-1878	
塩津 二郎	東京都大田区蒲田歯科医師会	副会長	〒144-0054 東京都大田区新蒲田 1-4-14 03-3735-1004	
斎藤 一人	東京都品川歯科医師会	会長	〒141-0031 東京都品川区西五反 田 6-25-12 03-3492-2535	
久米 徳明	歯学部教務課	課長	kume@ofc.showa-u.ac.jp	事務担当者
山村 勇一	歯学部教務課	係長	dkyoumu@ofc.showa-u.ac.jp	事務担当者
大矢 敦	財務部研究助成課	係長	zaimu-n@ofc.showa-u.ac.jp	事務担当者

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業

取組名「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」

第1回 ITを活用した教育センターのワークショップ

日時：平成24年11月22日(木) 11時～18時

場所：昭和大学旗の台校舎 1号館 6階会議室

メインの会場：1号館6階会議室、サブ会場：1号館5階カンファレンスルーム、

本部控え室：1号館5階小会議室

参加者：3連携大学と関連歯科医師会から約45名

北海道医療大+歯科医師会 9名

岩手医大+歯科医師会 12名

昭和大+歯科医師会 24名

グループ分け 4グループ

タイムスケジュール

- 10:45～11:00 集合・受付（6階会議室）
荷物は5階カンファレンスルーム
最初から4グループに分かれて着席
- 11:00～11:20 開会式（学部長 挨拶，自己紹介）
- 11:20～11:35 本取組の概要とWSのスケジュール（片岡）
- 11:35～ **セッション1**：超高齢社会に必要とされる歯科医師像は？
（グループ討議）教員+事務職員
KJ法の説明
模造紙・ポストイット・サインペン
- 12:45～13:15 昼食
会場でそのまま食事
- 13:15～14:15 発表：超高齢社会に必要とされる歯科医師像 模造紙で発表
（発表8分、討議7分）
- 14:25～15:40 **セッション2**：IT教材の連携校における共有 教員+事務職員
（活用例の紹介それぞれ5～10分と資料の配布）
・電子ポートフォリオ
・e-learning教材
全身疾患と口腔内科
頭頸部の診察実習
・VP（バーチャルペーシエント）
・ロボット
- 15:50～17:00 **セッション3**：今後連携校および歯科医師会で協働して開発す

る IT 教材は？（グループ討議）教員のみ

事務系職員は本事業運営の打ち合わせ
（5 階カンファランスルーム）

17:00～17:50 発表・討議（発表 5 分、討議 4 分）模造紙で発表
およびワーキンググループの結成

17:50～18:00 閉会式

18:10～19:30 懇親会（昭和大学病院入院棟 17 階タワーレストラン昭和）
VP、e-learning、電子ポートフォリオの展示ブース設営

ワークショップの概要

昭和大学、北海道医療大学、岩手医科大学の 3 つの連携大学とそれぞれの地域の歯科医師会が連携し、IT を活用した教育センターを設立するとともに、IT を活用した教育センターの第 1 回ワークショップを開催します。

このワークショップは、超高齢社会に必要とされる歯科医師像を把握し、連携大学ですでに使われている IT 教材（e-learning、バーチャルペーシエント、電子ポートフォリオなど）を共有します。さらに今後連携して開発する IT 教材について検討します。

ワークショップのグループ構成

3 連携校教育・事務職員と歯科医師会のメンバーが混在する形で、4 グループに分かれます。

ワークショップの進行

1. 超高齢社会に必要とされる歯科医師像は？

それぞれのグループでディスカッションを行い、全体で発表を行います。

2. 現在連携校で使用している IT 教材を共有する。

連携校で現在すでに使っている IT 教材を紹介し、共有します。

3. 今後連携校および歯科医師会で協働して開発する IT 教材は？

3 連携校教育職員と歯科医師会のメンバーでグループに分かれてディスカッションを行います。

ワークショップ終了後、懇親会（昭和大学病院入院棟 17 階タワーレストラン昭和）を予定しております。

VP、電子ポートフォリオ、e-learning の展示ブース設営

IT を活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成

教育テーマ

1. 口腔乾燥症
2. 基礎疾患を有する患者の歯科診療（循環器系疾患，呼吸器系疾患，糖尿病）
3. 介護施設における地域医療

教育プログラム

- | | | | |
|------|----------------|---|---------|
| 1 年生 | 歯科医院見学実習 | } | 初期体験実習 |
| 2 年生 | 地域福祉施設実習（口腔ケア） | | 解剖学・生理学 |
- 3 年生 口腔機能検査実習（口腔乾燥度，細菌数，嚥下機能，咬合力）関連テーマ（1・3）
 口腔乾燥症の症状、診断、治療および基礎疾患や服薬との関連を理解するのに必要な基礎知識の習得（e-learning）関連テーマ（1）
 代表的な基礎疾患（循環器系疾患，呼吸器系疾患，糖尿病，脳卒中）と口腔との関連を理解するのに必要な基礎知識の習得（e-learning）関連テーマ（2）
 地域医療の実践に必要な基礎知識の習得（e-learning）関連テーマ（3）
 ・実例を通して地域医療を学ぶ（例：脳卒中で退院後の在宅医療を例に、関連する地域医療、病診連携、多職種連携について学ぶ）
- 4 年生 口腔乾燥症と続発する病態についての診断と治療演習
 （e-learning あるいは VP）関連テーマ（1）
 口腔診察・診療演習（全身状態を含む模擬カルテと口腔アセスメントシートをもとに口腔治療・ケアプランを立案する演習）関連テーマ（1・2・3）
 専門的口腔ケア実践に必要な知識の習得（e-learning）関連テーマ（3）
 専門的口腔ケア実習（相互実習）関連テーマ（3）
 地域医療実践演習（rural, urban type）e-learning あるいは VP 関連テーマ（3）
- 5 年生 学部連携病棟実習、臨床実習（歯科病院、介護施設）における口腔乾燥症の診断
関連テーマ（1・2・3）
 地域医療実習（介護施設 1 日あるいは 2 日）地域の歯科医師会の先生に同行し、
 口腔診察を担当した患者の口腔アセスメントシートを作成し、口腔治療・ケアプランを立案する。関連テーマ（2・3）
 地域連携室・相談室実習（病院歯科室実習に組み込んで半日）関連テーマ（3）

IT を活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成

教育テーマ

1. 口腔乾燥症
2. 基礎疾患を有する患者の歯科診療（循環器系疾患，呼吸器系疾患，糖尿病）
3. 介護施設における地域医療

教育プログラム

- | | | | |
|------|----------------|---|---------|
| 1 年生 | 歯科医院見学実習 | } | 初期体験実習 |
| 2 年生 | 地域福祉施設実習（口腔ケア） | | 解剖学・生理学 |
- 3 年生 口腔機能検査実習（口腔乾燥度，細菌数，嚥下機能，咬合力）関連テーマ（1・3）
 口腔乾燥症の症状、診断、治療および基礎疾患や服薬との関連を理解するのに必要な基礎知識の習得（e-learning）関連テーマ（1）
 代表的な基礎疾患（循環器系疾患，呼吸器系疾患，糖尿病，脳卒中）と口腔との関連を理解するのに必要な基礎知識の習得（e-learning）関連テーマ（2）
 地域医療の実践に必要な基礎知識の習得（e-learning）関連テーマ（3）
 ・実例を通して地域医療を学ぶ（例：脳卒中で退院後の在宅医療を例に、関連する地域医療、病診連携、多職種連携について学ぶ）
- 4 年生 口腔乾燥症と続発する病態についての診断と治療演習
 （e-learning あるいは VP）関連テーマ（1）
 口腔診察・診療演習（全身状態を含む模擬カルテと口腔アセスメントシートをもとに口腔治療・ケアプランを立案する演習）関連テーマ（1・2・3）
 専門的口腔ケア実践に必要な知識の習得（e-learning）関連テーマ（3）
 専門的口腔ケア実習（相互実習）関連テーマ（3）
 地域医療実践演習（rural, urban type）e-learning あるいは VP 関連テーマ（3）
- 5 年生 学部連携病棟実習、臨床実習（歯科病院、介護施設）における口腔乾燥症の診断
関連テーマ（1・2・3）
 地域医療実習（介護施設 1 日あるいは 2 日）地域の歯科医師会の先生に同行し、
 口腔診察を担当した患者の口腔アセスメントシートを作成し、口腔治療・ケアプランを立案する。関連テーマ（2・3）
 地域連携室・相談室実習（病院歯科室実習に組み込んで半日）関連テーマ（3）

ワークショップのグループ構成

3 連携校教育・事務職員と歯科医師会のメンバーが混在する形で、4 グループに分かれます。

グループ1：セッション3のテーマ 口腔乾燥症：10名

美島健二 教授，新谷 悟 教授，佐藤裕二 教授，久米徳明 課長（昭和）
安彦善裕 教授，豊下祥史 講師、長澤敏行 准教授（北医療）小林琢也 講師，熊谷章子 助教，山本和博 課長（岩手）

グループ2：セッション3のテーマ 基礎疾患を有する患者の歯科診療

（循環器、呼吸器疾患、脳血管障害、糖尿病）：11名

飯島毅彦 教授，菅沼岳史 准教授，須田玲子 講師，谷 千尋 講師，山村勇一 係長（昭和）草野 薫 講師、齋藤正人 教授（北医療），城 茂治 教授，野田 守 教授，近藤尚知 教授，近藤 敬 課長補佐（岩手）

グループ3：セッション3のテーマ 地域におけるチーム医療：9名

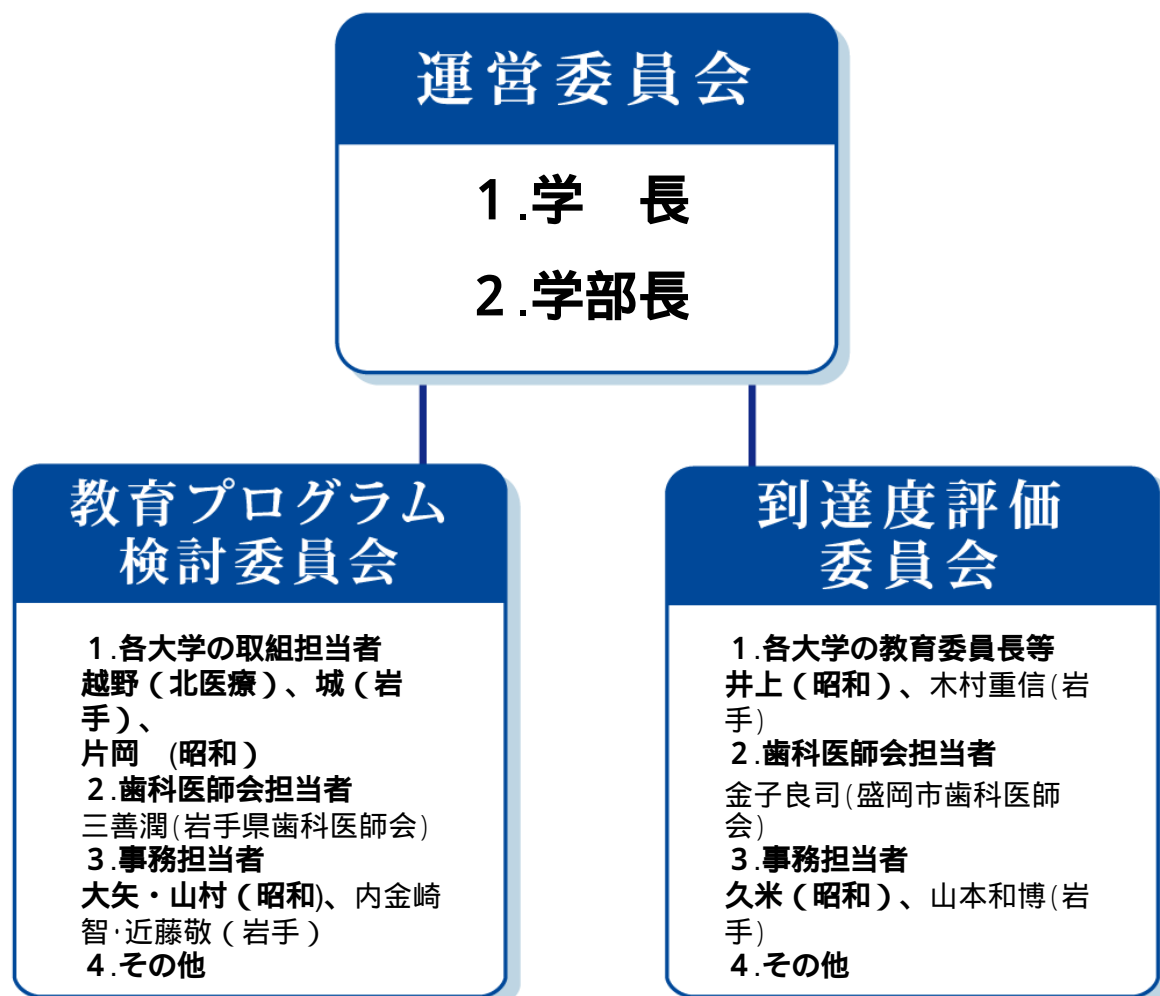
向井美恵 教授，勝部直人 講師，岡本 徹 大森歯科医師会長，塩津二郎，矢部隆司 荏原歯科医師会委員，品川歯科医師会副会長，大矢 敦 係長（昭和）河野崇志 道歯常務理事，（北医療）藤村 朗 教授，三善 潤 県歯常務理事，（岩手）

グループ4：セッション3のテーマ 地域におけるチーム医療：9名

佐野晴男 教授，北川 昇 准教授，村上光弘 目黒区歯科医師会理事（地域医療），齋藤 一人 蒲田歯科医師会会長（昭和），越野 寿 教授，大森幹朗 札幌理事，歳桃 淳情報推進課長（北医療），須和部京介 常任研究員，金子良司 市歯副会長（岩手）

タスクフォース：片岡竜太 教授，宮崎 隆 教授，岡野友宏 教授，井上美津子 教授，馬場一美 教授，馬谷原助教（昭和）

共同実施組織図



■ 教育センターの業務

1. VPの開発、活用、改良
2. 電子ポートフォリオの開発、活用、改良と評価方法の確立
3. e-learningの開発、活用、改良
4. 超高齢社会に対応するITを活用した歯学教育プログラムの開発
5. 教育目標の到達度の評価
6. ITを活用した歯学教育プログラムの実施と改良
7. 取組の成果の発表、公開、意見聴取
8. 報告書の作成

平成 24 年 10 月 29 日

岩手医科大学ネットワーク調査報告書

(2012 年 10 月 10 日実施)

昭和大学歯学部 片岡竜太先生

株式会社ピコラボ

代表取締役 青木保一

〒107-0052 東京都港区赤坂 4-1-30 AKABISHI-ビル 3 階

TEL 03-3568-2199 FAX 03-3568-2190

記

件名： 岩手医科大学のネットワーク調査について

2012 年 10 月 10 日に岩手医科大学にて、下記の通りネットワーク環境の調査を実施しました。

1. e-Learning, 電子ポートフォリオシステム, VP システム

(ア) 調査環境

以下の環境にて調査を実施しました。

歯学部棟 5 階 575 号室

中央に実験用テーブル、周囲の壁際に長机がある実習室。10 名程度は同時利用可能。学生の実習や自習などで利用しているとのこと。同様の部屋は多数あるが、いずれもネットワーク構成は 575 号室と同じとのこと。室内には有線接続のデスクトップ型の Windows PC (Windows XP) が 2 台設置されている。計測でもこの PC を利用。

歯学部棟 4 階 449 第 2 講義室

100 名程度が同時に利用できそうな平面講義室。歯学部の講義で利用されているとのこと。室内には無線 LAN のアクセスポイントが少なくとも 2 か所設置されていた。いずれも 2.4GHz と 5GHz 両対応と思われる。

試験は教務課の所有するノート PC をお借りして実施。回線は無線 LAN 接続。計測時は他の利用者は室内にはいなかった。

歯学部棟 1 階 学生ホール

学生が食事や自習などで自由に利用しやすいスペースとのこと。対面形式のテーブルと横長の椅子が多数設置されている。無線 LAN のアクセスポイントは 1 か所しか発見できなかった。2.4GHz, 5GHz の両方に対応していると思われる。

試験は教務課の所有するノート PC をお借りして実施。回線は無線 LAN 接続。計測時は他に 10 名程度の利用者がいた。PC 等の利用については不明。

(イ) 調査結果

e-Learning について

利用環境として十分な性能が得られることが確認できました。個別の調査項目ごとの状況は以下の通りです。

1. Web コンテンツ

殆どの画面が 1 秒未満で表示され、十分な性能が得られることが確認できた。

2. 動画再生

再生ができた環境では 2 秒程度で再生が開始され、途中での停止などもなかった。環境としては十分である。Flash Player がインストールされていない PC が多かったので、個別にインストールを行ったが、一台の PC ではうまくインストールができなかった。個別の PC の設定に関わる問題と考えられ、設備等の変更の必要はないと考えている。

電子ポートフォリオシステムについて

利用環境として十分な性能が得られることが確認できました。個別の調査項目ごとの状況は以下の通りです。

1. Web コンテンツ

殆どの画面が 1 秒未満で表示され、十分な性能が得られることが確認できた。

2. 動画再生

いずれの環境でも 5 秒以下で再生が開始され、途中での停止などもなかった。環境としては十分である。

3. コンテンツのアップロード

いずれの環境でも 700K/s 以上の速度でのアップロードができた。環境としては十分である。

VP システムについて

利用環境として十分な性能が得られることが確認できました。個別の調査項目ごとの状況は以下の通りです。

1. Web コンテンツ

全ての環境で、複雑な画面でも 3 秒以下で表示された。環境としては十分である。

2. 3D 画面の起動時間

初回起動時が 1 分弱、2 回目以降は 10 秒前後となった。昭和大学の学内利用と同様の数値であり、運用時に配慮すれば利用上の問題はない。

3. 対話の応答時間

全ての対話について 1 秒以下での応答が得られた。環境としては十分である。

2. Skype による会議の実施

斎藤先生および小原先生と以下について議論を行いました。

(ア) 調査環境

以下の環境にて調査を実施しました

歯学部棟 2 階 258 セミナー室

教員用の居室と同等の環境の部屋。壁に有線 LAN のコネクタが 1 つあり，そこに 5GHz, 2.4GHz 両対応の無線 LAN のアクセスポイントが接続されていた。室内には Windows PC が 2 台設置されていて，いずれも無線 LAN 経由でネットワークに接続する構成となっていた。Skype ミーティングには持参した Web カメラ（ロジクール c920）を利用。スピーカが設置されていないため，教務課の方の個人所有のイヤホンをお借りした。

(イ) 調査結果

調査は昭和大学及びピコラボと接続して 3 拠点でのグループビデオ会議を行いました。調査結果は以下の通りです。

無線 LAN 接続の場合

会議中，映像と音声のずれや発音の遅延などが発生し，会議を行うには十分な性能が得られなかった。画質も状況によってはブロックノイズが目立つなどかなり低い画質になることがあった。通話中に自動的に画像が非表示になることがあった。Skype 会議を行うには不十分と感ずることがあった。

中庭向きの部屋で無線や PC も中庭側の窓際に設置されていたため，他の部屋の無線 LAN の電波が届いて輻射していた可能性もある。

有線 LAN 接続の場合

無線 LAN の AP を撤去し，PC を壁の有線 LAN コネクタに直結して調査した。無線に比べて遅延は少なく音質もクリアになった。また画質も無線に比べて改善した。Skype 会議を行うに十分な回線品質が得られた。

以上の調査から，e-Learning, 電子ポートフォリオシステム, VP システムの利用については十分なネットワーク環境があることが確認できました。Skype ミーティングについては主に無線 LAN 環境で問題がありましたが，有線に切り替えることで十分な性能が得られました。従って，PC の設置場所や個別の PC などの環境によっては Skype 通話に支障をきたす可能性もありますが，大学のネットワークインフラには問題がなく，有線接続などに切り替えることで十分な性能が得られると判断いたします。

以上